

令和4年度長野県高等学校総合体育 剣道競技 東信大会実施に関する
『新型コロナウイルス感染予防』ガイドライン（重要）

【参加にあたって】（選手・補助員・剣道部員・役員・引率職員のすべて対象）

1. 大会は無観客で行い、入場は、選手・補助員・剣道部員・監督・顧問・大会役員・係員等許可された関係者のみとする。大会関係施設への立ち入りも同様とする。
2. 以下に該当する者は参加できない。
 - (ア) 基礎疾患のある者
 - 基礎疾患のある者とは、「糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方など」をいう。
 - これらの者で参加を希望する者は主治医の承認を得るものとする。
 - (イ) 発熱のある者
 - 個人差はあるが、一般的には「37.5℃以上ある者」をいう。
 - (ウ) 咳、咽頭痛など風邪のような症状がある者、その他体調がよくない者。
 - (エ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - (オ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触者がある場合。
3. 参加者は、事前に東信高体連が示す参加同意書を必ず学校に提出すること。
4. 参加者ならびに関係者は、大会2週間前より「参加者健康確認票」（様式1）に検温を行い記録する。また、大会当日に健康状況等の必要事項を記入し会場に持参する。
5. 参加者ならびに関係者は、常にマスクを着用する。※選手・審判員のマスクに関する詳細は別欄

【入場・受付にあたって】（選手・補助員・役員・引率職員のすべて対象）

1. 参加者ならびに関係者は、会場への行き帰りの際に「家庭用マスク」を着用し感染予防に努める。
2. 会場まで自家用車で送ってもらえる選手は、更衣室などの密集を避けるため、あらかじめ道着・袴に着替えて入場することを推奨する。
3. 本部は、体育館正面玄関付近に受付場所を設置し、係を複数名配置する。参加者ならびに関係者は入場する際、行列にならないように配慮する。（上小地区生徒・佐久地区生徒・役員および引率顧問の3箇所の受付を理想とする。）
4. 参加者ならびに関係者は受付で、持参した「参加者確認票」を係員に提出する。
 - (ア) 「参加者確認票」を持参しなかった者は、原則として入場できない。
 - (イ) 付き添いの保護者、見学者等は入場できない。
 - (ウ) 受付にて体温測定を行う。（当日の朝に検温をして来場している場合は不要）
5. 体温測定により、37.5℃以上ある者は原則入場できない。その際、係は本部や引率職員と相談し、その後の対応を検討する。
6. 受付場所に手指消毒液を設置し、参加者は消毒を行う。
7. 複数日参加する参加者ならびに関係者には、会場に訪れる最終日を除き「参加者健康管理表」を返却する。返却方法は以下のとおりとする。
 - (ア) 生徒および顧問：本部 ⇒ 各校顧問 ⇒ 生徒
 - (イ) 依頼審判：本部 ⇒ 試合場主任 ⇒ 依頼審判
 - (ウ) その他役員等：本部 ⇒ その他役員等

【会場内での行動等にあたって】（選手・補助員・役員・引率職員のすべて対象）

1. 参加者並びに関係者は、フィジカル・ディスタンスを常に保つように心がける。
2. 更衣室については密集・密接を避ける。試合前後のミーティング等においても密集・密接を避ける。
3. 参加者ならびに関係者は、細目に手指消毒・手洗い・うがいを行う。
4. 参加者の控え席 兼 荷物置き場は、本部で指定をする。ゴミは各自で責任をもって持ち帰る。
5. 対面での飲食は避ける。水分補給のボトルは、各自で用意し共用しない。
6. 観覧席は、3密を避けるため1席以上の間を空け座る。

【大会運営にあたって】

1. 本部は、大会日程に余裕をもって収まる範囲で、入場規制や試合方法を検討する。
2. 竹刀検量は学校ごと区切って実施をし、場合によっては簡易的な検量にとどめることもあり得る。（事前に各校で責任をもって点検を行い、不正竹刀の利用が無いように努める。）
3. 開会式は行わない（大会長挨拶と連絡等の開始式のみ）。閉会式は表彰のみとする。
4. 団体戦のチームの入れ替えは余裕をもって行き、密集・密接を避ける。（入れ替え方法は従来通り）
5. 「アップ練習」については、指定された場所、時間で行う。ただし、密にならないようにするため、出場選手のみの使用とし、短時間とする。
6. 面マスクの利用による熱中症や過呼吸等を考慮し、選手をよく観察する。（審判員・顧問・大会役員）
7. 参加者は、試合時に必ず面マスク（鼻まで覆う）とマウスガードを使用する。

【試合及び審判方法にあたって】

1. 「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」により実施する。
2. 審判員は、試合時マスクを着用する。白色の不織布とする。
3. 審判員は、できる限り各自の審判旗を持参し使用する。個々の審判旗がない場合は消毒済みの審判旗を受け取り使用する。審判旗は共用しない。
4. 審判員の入場、位置、移動等については、全剣連からの資料を参照とする。

【試合順及び試合時間等にあたって】

1. 試合順については、1日目男子団体、男子個人、2日目女子団体、女子個人とし決勝まで行う。
2. 試合時間は、団体戦4分3本勝負。勝敗が決しない場合、延長戦は行わず引き分けとする。個人戦4分3本勝負。勝敗が決しない場合、4分の延長戦を行う。延長戦2回終了後は呼吸を整えさせる。延長戦4回終了後は、面を外し給水処置等の休憩をとる。これ以降の延長戦は、この形を繰り返す。休憩時間はおよそ4分とし、4分後までには試合が開始出来る様に準備する。

【新型コロナウイルスに関わる大会参加の基準について】

1. 「部活動における臨時休業中の公式大会等への参加について」（令和4年4月28日付の4教高第74号）を基準とする。

【その他】

1. 大会会場では常に換気を行う。送風機が完備されている会場であれば利用する。
2. 本部は、消毒に関して最低でも以下の通り用意する。
 - (ア) 手指消毒液を受付（体育館入口）・アリーナ入口・各試合場・本部・男女トイレに用意する。
 - (イ) アルコール消毒液を各試合場・本部に用意する。
 - (ウ) 消毒などに利用する雑巾・キッチンペーパーを適切な数量用意する。
3. 参加校は各校で手指消毒液を持参する。
4. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等も含め報告する。又、各校顧問は全日本剣道連盟への報告も行う。
5. 新型コロナウイルスの感染者が出た場合は、参加者全員に対してPCR検査あるいは抗原検査の実施をお願いする。結果は速やかに主催者へ報告をする。

東信高体連剣道専門部

専門委員長 藤原 慎吾（東御清翔高等学校）

住所 東御市県276

TEL 0268-62-0014/FAX 0268-61-0013